

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	2年生	
教科等名	数学		グループ名	2グループ	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な数量を理解するとともに、具体物や電卓を使って簡単な計算ができる。 「多い、少ない」「長い、短い」等の比較をし、違いを知る。 お金の数え方や簡単な計算を覚え、金銭に関する力を伸ばす。 				
担当教員	○寺田 直子 渡辺 拓都				
予定授業時数	66				
使用教科書	改訂新版 くらしに役立つ数学 東洋館出版社				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	時間と時刻	△	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な今日、明日の意味 現在の時刻 	<ul style="list-style-type: none"> 暦の読み取りができる。 授業の開始時刻などが分かり、生活の中で活用できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の始めに毎時間行い、定着を図る。 視覚的に分かりやすいように模擬時計、タイムタイマーを用いる。
4 5 6	整数の加法	○	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を数え方、単位 1桁繰り上がりのない加法の計算 	<ul style="list-style-type: none"> 正確に具体物を数えられるようになるとともに、その物によって単位が違うことがわかる。 具体物や電卓を用いて計算の仕方を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもてるように身近な具体物を用いる。 必要に応じて、電卓を活用しながら、繰り返し行い、学習の定着を図る。
7 9	ものの位置	○	<ul style="list-style-type: none"> 平面での上下や左右 空間での左右や前後 	<ul style="list-style-type: none"> 上下、左右、○○から何番目などを理解できる。 空間の中で、左右や前後、を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 操作しやすい具体物を用いる。 整列順や座席表など、生活に役立つ場面を設定する。
10 11 12	数と計算	○	<ul style="list-style-type: none"> 【金銭に関わる計算】 金種の一致 金種の組み合わせ 支払い、お釣りの受け取り 	<ul style="list-style-type: none"> 金種を組み合わせ、指定された金額を作ることができる。 ちょうどの金額の支払いができる。 実際に金銭のやり取りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活に結び付くように模擬通貨を用いる。 計算アプリを使用し、お釣りの確認をし、実践的に学習する。 ロールプレイ形式で行う。
1 2 3	量、長さ	○	<ul style="list-style-type: none"> 目分量での均等の分け方 具体物の長さの比較 	<ul style="list-style-type: none"> 半分や3等分以上に分けることができる。 日常的に目にする物の長さを測定し、比較できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な具体物を用いて均等に分けられるようにする。 身近な物を測定することで、長さを感じられるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	2年	
教科等名	数学		グループ名	3グループ	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な計算方法を覚え正確な答えを導き出すことができる。 ・身の回りの事物を数字や図形などを使って表現することができる。 ・数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 				
担当教員	○森脇 光司 池原 萌				
予定授業時数	66				
使用教科書	改訂新版 くらしに役立つ数学				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・暦と計算		<ul style="list-style-type: none"> ・今日、明日、今週、来週、今月、来月について ・簡単な繰り上がりや繰り下がりのある加減法の筆算 	<ul style="list-style-type: none"> ・暦の読み取りができる。 ・繰り上がりや繰り下がりの法則がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初に進行予定を示し、最後に振り返りの時間を設けることで、生徒が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・時間について ・長さ ・大きな数 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ時計の読み取り ・○分後、○分前 ・長さの比較 ・4桁以上の数の計算や比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ時計を見て、正確な時間が分かる。 ・10分後や10分前の時刻の計算をすることができる。 ・日常的な道具を用いて、正しい測定ができる。 ・大きな数を正確に読んだり、順番に並べることができる。 ・電卓を使って計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言や発表を肯定的に受け止め、生徒が自信をもって、対話的に授業参加できるようにする。 ・日常生活に関連した内容や教材にすることで、学習したことを生活に応用し、深められるようにする。
9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・順番、位置 ・データの活用 ・数量 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平行や垂直、角 ・棒グラフや円グラフの読み取り ・金銭にかかわる計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面を見て、平行や垂直を見付けることができる。 ・グラフを見て、数量を読み取ったり、量を比較したりすることができる。 ・金銭を使った簡単な計算ができる。 ・いくら出せば足りるのか、買えるのが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末(計算アプリ、図形アプリ、NHK for schoolアプリなど)を活用したり、計器の目盛りを見やすくしたりするなど、視覚支援を多く取り入れる。 ・学習意欲を引き出すことができるよう、ゲームやクイズなどを取り入れ、楽しい雰囲気で行う。
1 2 3	・重さと量	○	<ul style="list-style-type: none"> ・量や重さの比較 ・はかり等の使い方 ・目分量で均等に分ける方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・重さを比較できる。 ・日常的な道具を用いて、正しい測定ができる。 ・半分や3等分以上に分けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に応じたワークシートやプリント教材を準備する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	2年	
教科等名	数学		グループ名	4グループ	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・加法、減法、乗法、除法の意味を理解し、計算する技能を身に付ける。 ・具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えることができる。 ・数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする。 				
担当教員	○五十嵐 亮 高垣 淑				
予定授業時数	66				
使用教科書	改訂新版 暮らしに役立つ 数学				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・計算力を身に付けよう	○	・足し算、引き算、掛け算、割り算など	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりの法則がわかる。 ・数が大きくなっても、手順通り計算をすることができる。 ・かけ算、九九を覚えて、活用することができる。 ・正確に問題を解くことができる。 ・問題の正しい解き方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初に進行予定を示し、最後に振り返りの時間を設けることで、生徒が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。 ・発言や発表を肯定的に受け止め、生徒が自信をもって、対話的に授業参加できるようにする。
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・測定と単位 ・図形と面積 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・年間や学期で取り組む内容 ・計器を用いて、身の回りものの長さや重さを測定 ・図形の名称や公式、面積 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の授業に見通しをもつ。 ・長さの単位(mm、cm、m、km)や重さの単位(g、kg)について知り、測定の意味を理解する。 ・図形の特徴を読み取り、計算によって面積を求めることや大きさを比較することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関連した内容や教材にすることで、学習したことを生活に応用し、深められるようにする。 ・タブレット端末(計算アプリ、図形アプリ、NHK for schoolアプリなど)を活用したり、計器の目盛りを見やすくしたりするなど、視覚支援を多く取り入れる。
9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭と消費税 ・平均 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税の計算方法 ・上手な買い物 ・買い物の計算 ・半額の値段 ・三つ以上の数の平均値 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた金額の中で求められる商品の買い物をすることができる。 ・決められた商品を広告の中から探し出して買い物をすることができる。 ・平均値の計算の仕方が分かり、電卓等を活用して計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を引き出すことができるよう、ゲームやクイズなどを取り入れ、楽しい雰囲気で行う。
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの活用 ・1年のまとめ 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある数量やグラフ ・1年間の学習の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりする。 ・学習内容を定着させることができる。 ・学習の成果を感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の習熟度に応じたワークシートやプリント教材を準備する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2年		
教科等名	数学	グループ名	5グループ		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・加法、減法及び乗法の意味を理解し、計算する技能を身に付ける。 ・具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えることができる。 ・数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする。 				
担当教員	○木村 克久				
予定授業時数	66				
使用教科書	改訂新版 暮らしに役立つ数学				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・計算力を身に付けよう		・足し算、引き算、掛け算、割り算	<ul style="list-style-type: none"> ・正確に問題を解くことができる。 ・問題の正しい解き方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初に進行予定を示し、最後に振り返りの時間を設けることで、生徒が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・測定と単位 ・図形と面積 		<ul style="list-style-type: none"> ・年間や学期で取り組む内容の理解 ・計器を用いた長さや重さを測定 ・図形の名称や公式 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の授業に見通しをもつ。 ・長さの単位(mm、cm、m、km)や重さの単位(g、kg)について知り、測定の意味を理解する。 ・図形の特徴を読み取り、計算によって面積を求めることや大きさを比較することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発言や発表を肯定的に受け止め、生徒が自信をもって、対話的に授業参加できるようにする。 ・日常生活に関連した内容や教材にすることで、学習したことを生活に応用し、深められるようにする。
9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・割合 ・金銭と消費税 ・平均 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・小数、百分率 ・半額の値段 ・消費税の計算方法 ・上手な買い物 ・買い物の計算 ・三つ以上の数の平均値の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数や百分率を理解し、相互に変換することができる。 ・割引された値段を計算することができる。 ・決められた金額の中で求められる商品の買い物をすることができる。 ・決められた商品を広告の中から探し出して買い物をすることができる。 ・平均値の計算の仕方が分かり、電卓などを活用して計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末(計算アプリ、図形アプリ、NHK for schoolアプリなど)を活用したり、計器の目盛りを見やすくしたりするなど、視覚支援を多く取り入れる。 ・学習意欲を引き出すことができるよう、ゲームやクイズなどを取り入れ、楽しい雰囲気で行う。
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・データの活用 ・1年のまとめ 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある数量の表やグラフでの表し方 ・1年間の学習の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりする。 ・学習内容を定着させることができる。 ・学習の成果を感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に応じたワークシートやプリント教材を準備する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。